

3. 流域治水に関する取組事例の共有

東大阪市 (大阪府域)

東大阪市



くらしイキ快適下水道

東大阪市における

流域治水の取り組み



東大阪市公式
YouTube 



ケーブル
TV



1. 東大阪市と流域治水



“モノづくりのまち” 東大阪市
大阪市の東隣に位置する中核市

× 浸水リスクの高い地形条件
(雨水が自然に川へ流れ込まない内水域)

○ 日本を代表し世界に誇る高い技術力を
有するリーディングカンパニーが集積

⚠ 市民の生命・財産・高度な技術力を守るべく

◇(市)雨水レベルアップ計画

浸水被害軽減に向け、**増補管**、**雨水放流幹線**、
雨水ポンプ等の整備を実施中！

事業概要(西部地区) **排水能力の向上**

岸田堂ポンプ場 **雨水ポンプのレベルアップ**

事業期間: R5～R7 放流量: 1.2m³/s 施工中

新大蓮北放流幹線整備 **地下河川への接続**

事業期間: R7～R10 施工予定
管径: φ2,200 延長: 約2,050m

◇(大阪府)流域治水

「流す・貯める・浸透させる」をコンセプトに
地下河川事業、**遊水・調節池事業**を実施中！

国・大阪府・市が一体となり「流域治水」に取り組んでいます！

昭和57年浸水被害状況

整備効果は絶大！



被害激減

R3年浸水被害状況

岸田堂ポンプ場
雨水ポンプのレベルアップ

新設
増補管等

新大蓮北放流幹線

大阪府施工
地下河川

昭和57年8月2日

令和3年7月14日

時間最大雨量

40mm

70mm

床上

床下

床上

床下

655戸

11,663戸

3戸

41戸

昭和57年～市域全域で甚大な浸水被害が多発

総事業費約490億円を投じ、浸水対策を実施！

昔に比べて雨は激しさを増す中、近年の降雨時

でも浸水被害件数が激減

昭和23年浸水被害状況



現地状況

地下河川事業



花園多目的遊水池(H30.7)



晴天時

2. ソフト対策の取り組み(防災ハザードマップ)

◇浸水の広がりを時系列で！ 日本初の防災ハザードマップ

スマートフォンやタブレットで閲覧でき
いつでも・どこでも確認が可能

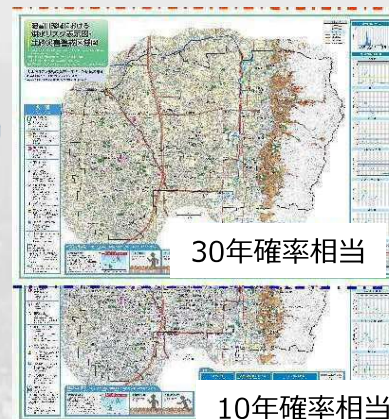
WEB版表示イメージ

PC・タブレット

紙版表示イメージ

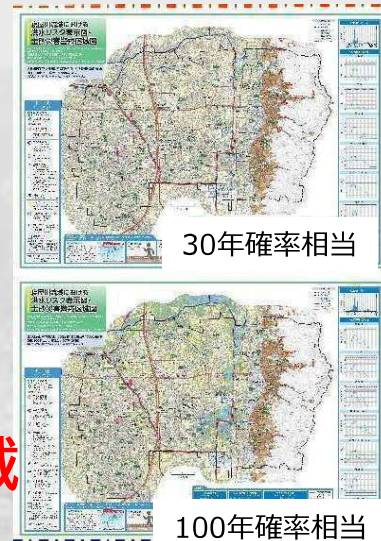


10年確率相当



30年確率相当

10年確率相当



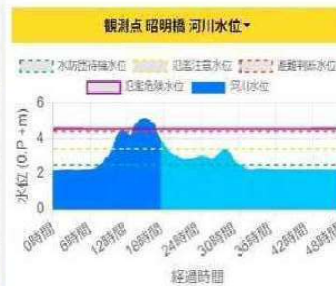
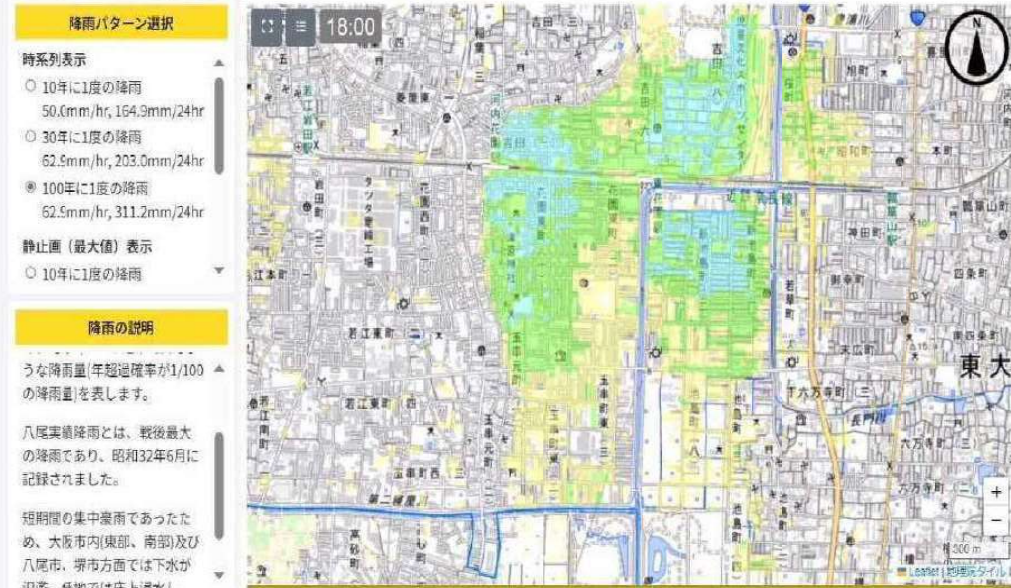
30年確率相当

100年確率相当

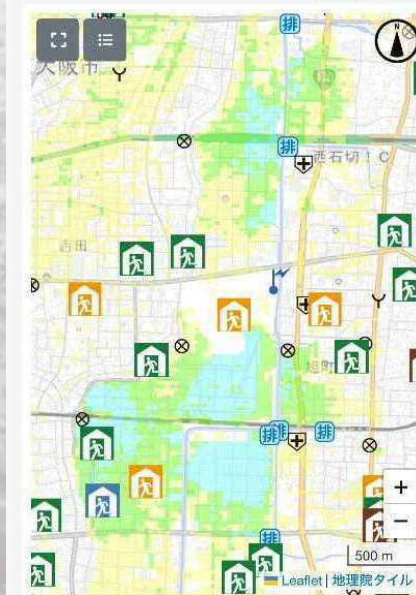
A1版1枚に3つの浸水想定を掲載

スマートフォン

東大阪市 防災電子ハザードマップ 洪水



東大阪市
防災電子ハザードマップ 洪水



東大阪市
防災電子ハザードマップ



降雨レベル毎の最大浸水深の時間変化→浸水の拡大から縮小を掲載(概ね48hrまで)

スライダー(時間軸)が移動⇒浸水深の変化を見える化

東大阪市ケーブルテレビ 広報番組

ケーブルテレビ加入世帯は約7割！

全世帯約25万世帯のうち、約7割にあたる16万世帯が
視聴可能であり、市民に浸透した番組です

大雨からまちを守ろう！ ～東大阪市の治水対策～

2024.7.1 ▶ 7
計 33回放映

～東大阪市内の下水道施設を紹介～

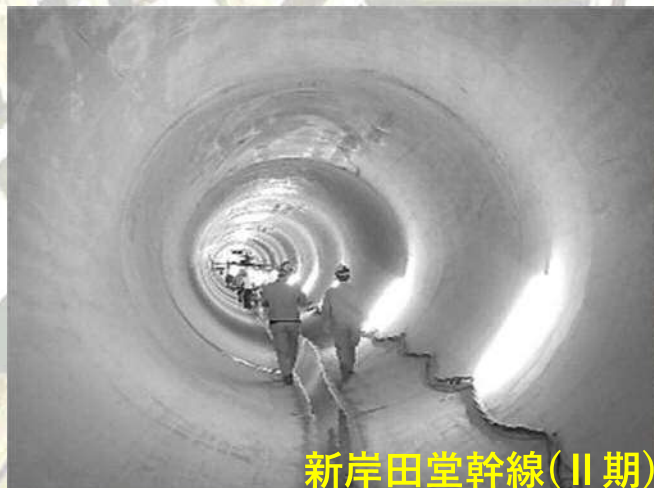


東大阪市の治水対策



放映内容

気候変動の影響により大雨が多発しており、下水道施設の役割が日々大きくなっています。そこで、普段目にすることが少ない下水道施設や治水施設を、子どもから高齢者までの幅広い人々にわかりやすい内容で紹介しています



新岸田堂幹線(Ⅱ期)

通常時



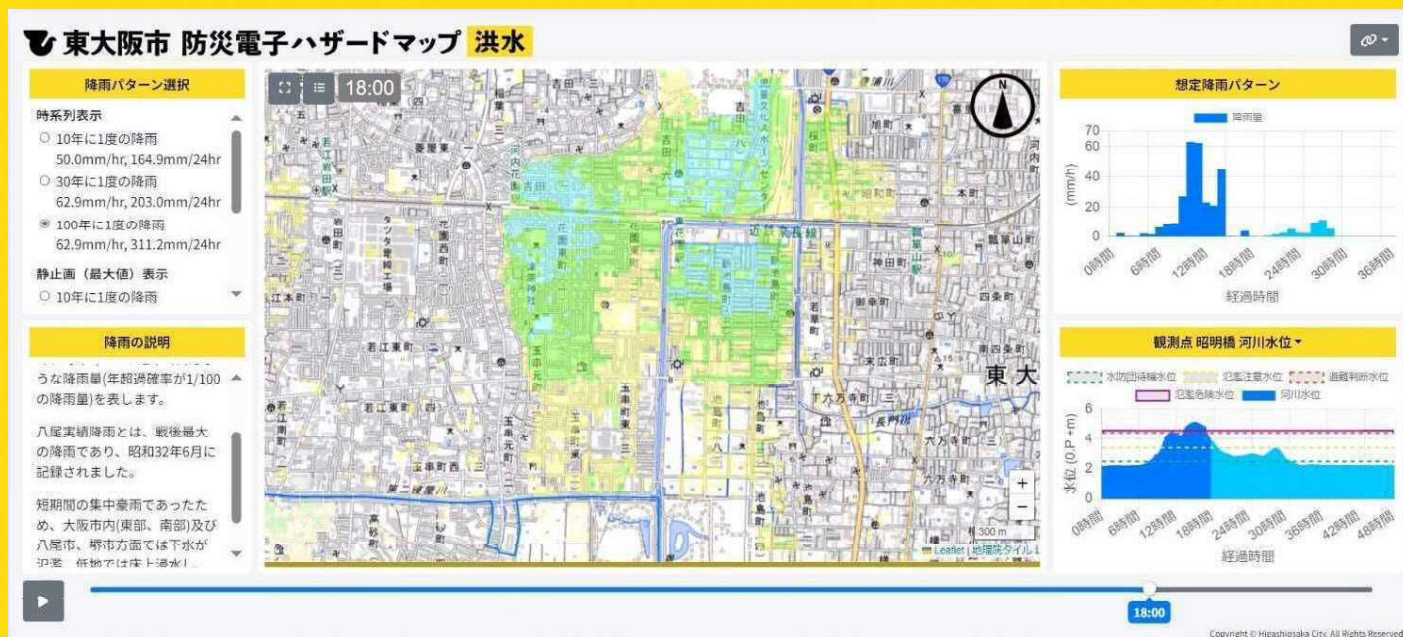
豪雨時



流域治水対策実施中！

東大阪市 防災ハザードマップ

- ・ 複数の降雨規模による浸水リスクを表現
- ・ 浸水範囲の拡大・収束を時系列で可視化



このハザードマップはWEBで公開しており、PCをはじめスマホやタブレットを利用して「いつでも・どこでも」確認が可能！

【浸水の広がり进行时系列で確認】

今回作成した防災ハザードマップは、(1/10, 1/30, 1/100) 3パターンの確率規模降雨について、**段階的に浸水範囲が拡大し、降雨が収まるにつれて浸水が収束していく様子を時系列で確認が可能！**

想定最大規模降雨に加え、身近に起こり得る降雨による浸水や氾濫を想定したハザードマップを作成することで、国内各地で発生している豪雨災害について、市民が自分ごとと捉えていただくことを期待しています。

ウェブサイト

(東大阪市防災電子ハザードマップ **洪水**)

<https://higashiosaka-hazardmap.azurewebsites.net/>

東大阪市 ハザードマップ 複数の降雨規模

検索

気象庁 大阪管区気象台 (大阪府域)

淀川管内（大阪府域）の市町村の小学校で防災授業を実施。

【水災害教育の概要】

- ◇茨木市教育委員会が実施するゲストティーチャーによる理科特別授業の一環
- ◇大阪市教育委員会が実施する理科特別授業の一環
- ◇ペットボトルを用いて雲を作る演示実験を実施
- ◇児童に「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」のDVDを視聴後、
「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」気象防災ワークシート（児童用）に記入し発表

令和6年度実績

【実施校】

茨木市立太田小学校 （9/30）

大阪市立山之内小学校
（10/1・2）



理科特別授業開始前の様子
（太田小学校）



ペットボトルを用いた雲を作る演
示実験の様子（山之内小学校）



大阪管区気象台HP
「気象台作成！防災教材」



気象防災ワークシート



ペットボトル内で雲を作る実験

**環境省 近畿地方環境事務所
（大阪府域・京都府域）**

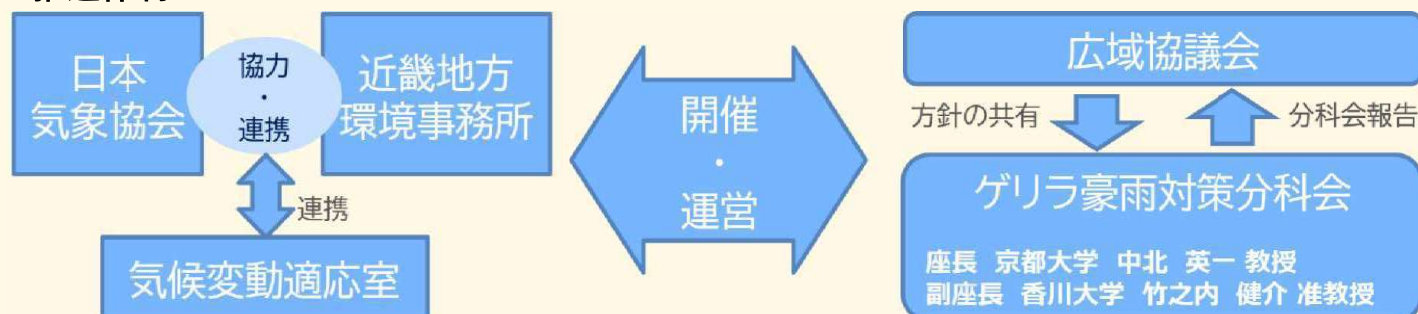
事業名：気候変動適応地域づくり推進事業（ゲリラ豪雨対策）

環境省
近畿地方環境事務所

- 気候温暖化に伴う局地的豪雨の増加による影響を踏まえ、その（人的・物的）被害を軽減するために策定した広域アクションプランに基づく適応策の推進を図る。関係者が参加するFU※分科会を開催・運営する。
- 滋賀県、京都府及び関係市町村、大阪府、和歌山県、京都市、大阪市、地域適応センター（兵庫県他）、等（環境部局に加え、一部の防災・危機管理系部局も参加。継続して参加募集中。）（※FU:フォローアップ）

事業メニューの内容、イメージ

< 推進体制 >



事業メニューの実施事例

ゲリラ豪雨対策FU分科会の設置

テーマ：局地的大雨による市街地水災リスク増大への適応

気候変動の影響により、局地的豪雨の頻度、強度が増してきており、将来的にはさらに激甚化することが予想されています。また、局地的豪雨による災害の頻度・程度が増えています。

近畿地域では、XRAINによる降雨の立体観測が高頻度で行われている優位性があります。

（令和6年度の事業活動内容）

- ・分科会：8月20日（火）、9時30分～12月23日（月）、10時～
- ・意見交換会：11月13日（水）
- ・中学校における実証：7月～10月
対象：南宇治中学校、東宇治中学校
- ・人と防災未来センターとの連携事業（都賀川水難事故に関する企画展示、ゲリラ豪雨×夏休み防災未来学校2024 WS「ゲリラ豪雨マスターになろう！」）、等

事業メニューの効果

広域アクションプラン（R4年度策定）に含まれる適応アクション

広域連携での適切性、実行可能性・費用対効果の検証を踏まえ、広域アクションプランを策定

a.施設のゲリラ豪雨対策の実施状況の整理と対策推進

主なターゲット：中小規模施設の施設管理者、公園管理者等（野外施設の管理者も含む）
アクションプラン：既存施設等のゲリラ豪雨対策状況のとりまとめと情報共有。中小規模施設等におけるゲリラ豪雨対策の推進。

b.ゲリラ豪雨関連情報の有効活用検討

主なターゲット：地方公共団体（環境系部局、危機管理部局、防災系部局、道路系部）関係者、指定施設管理者、工事業者、教職員・生徒、一般住民
アクションプラン：豪雨関連情報のとりまとめ結果や利用方法に関するマニュアル作成と有効活用促進

c.ゲリラ豪雨対策に関する啓発・教育

主なターゲット：地方公共団体（環境系部局、危機管理部局）、地域気候変動適応センター、各府県地球温暖化防止活動推進センター、教職員・生徒、一般市民
アクションプラン：学校教育現場における啓発授業の実施や、啓発パンフレットの作成・配布



【令和7年度予算（案） 480百万円（700百万円）】

気候変動影響への適応取組を強化し、安全・安心で持続可能な社会の構築を目指します。

1. 事業目的

気候変動の影響は国内外で既に現れており、さらに深刻化する可能性がある。そのためパリ協定等により、各国とも気候変動による被害の防止・軽減を図る適応の取組が求められている。日本では、平成30年6月に気候変動適応法が成立し、適応策の推進は、骨太の方針、クリーンエネルギー戦略等にも盛り込まれている政府の重要課題である。これらを踏まえ、気候変動適応法に基づき、適応策を推進することで、健康影響の防止による生活の安定、農林水産業などの健全な発展、国土の強靱化などを総合的に目指す。

2. 事業内容

（1）気候変動影響評価・気候変動適応計画の進捗管理

気候変動適応法に基づく気候変動影響評価・気候変動適応計画の進捗把握を効果的・効率的に実行する。また、計画の改定に向け、戦略を検討する。

（2）将来への適応策の強化

気候変動を踏まえて、将来の台風に関する影響を評価し、激甚化する気象災害への対策の充実を図る。また、気温上昇が1.5℃を超える可能性があることから、その場合の適応策を検討し、それらを分かりやすく情報発信する。

（3）地方自治体、民間企業等の適応策の支援

地域特性を加味した気候変動影響評価手法の検討などにより、地域における適応を推進する。また、サプライチェーンを含めた気候変動影響評価の手引きの作成などにより、民間企業における適応を促進する。

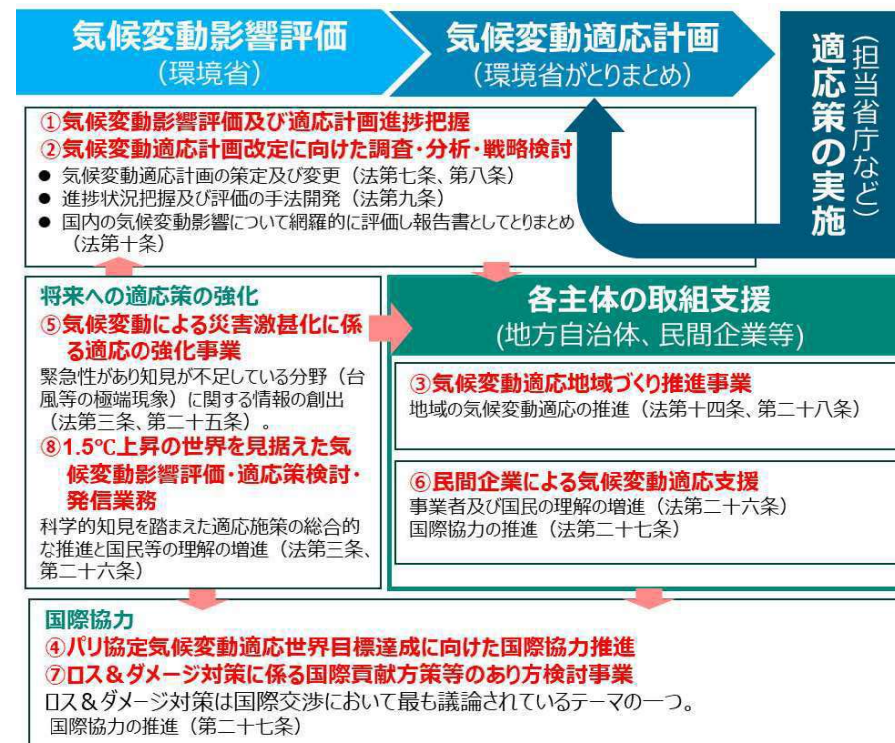
（4）適応策の国際協力

気候変動に脆弱な開発途上国において、能力強化や官民連携を通じて国際協力を推進する。また、気候変動の悪影響に伴うロス&ダメージに関する国際貢献方策等を検討し、我が国の民間セクターによる取組を後押しする。

3. 事業スキーム

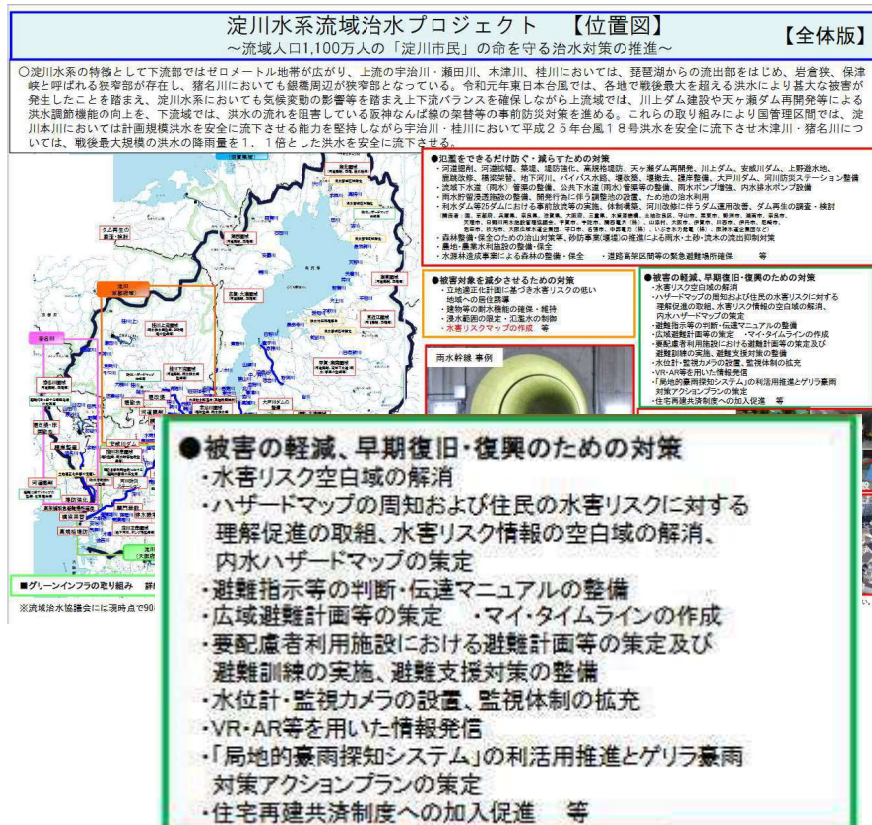
- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体等
- 実施期間 平成18年度～

4. 事業イメージ



河川レンジャー （大阪府域・京都府域）

河川レンジャーによる 流域治水への取り組み



河川レンジャーでは、淀川水系流域治水プロジェクトをふまえ、「被害の軽減、早期復旧、復興のための対策」から、マイ・タイムラインの作成に着目し、活動を進めています。

流域治水関連法の付帯決議(R3.4)においては、「流域治水の推進にあたっては環境分野の取り組みが重要」とされ、環境保全への取り組みにも着目しています。

「あらゆる関係者が協働して「流域治水」を計画的に推進することが重要」として、流域治水協議会構成員として河川レンジャーを拡充。(R5, 3～)

河川レンジャーではマイ・タイムライン及び防災学習普及計画案をもとに、流域治水への取り組みを展開。

構成員の拡充について

○淀川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進することが重要。

○地域の防災リーダーなどが協議会(分会)に参画いただき地域の安全確保の実現に向けたワークショップや意見交換会の開催等、流域治水への住民参画の取組を引き続き拡大していくため、構成員を拡充。



○今回の流域治水協議会にて、河川レンジャーを構成員に拡充。

●協議会での役割：日頃から河川レンジャーとして活動されている中で、防災・減災に関連した活動内容に関する情報提供、行政に期待する課題・提案を行っていただくとともに、地域住民への情報発信など幅広い取組を実施。



マイ・タイムライン等に関するワークショップ

※淀川管内河川レンジャーとは

淀川河川レンジャーは、行政と住民との橋渡し役となって、防災学習や水防活動等の防災を推進する活動、河川に係わる環境学習等の文化活動や動植物の保全等の活動を実施するとともに、不法投棄の状況把握や河川利用者への安全指導など、河川管理者が責任を果たさなければならないを以て、比較的恒便で危険を伴わない範囲における河川管理上の役割を担い、河川と地域との良好な関係を構築する。（淀川管内河川レンジャー（試行）運営要領）

今後も引き続き、協議会構成員の拡充を図る。

流域治水協議会

流域に関わるあらゆる関係者(国・府県・市町村・企業・個人等)による取り組みを適切に組合せ、加速化させることで効率的・効果的な治水安全度の向上を実現させるとともに、その考えや施策を、「流域治水プロジェクト」としてその全体像を社会全体にわかりやすく示し、地域が共通の理解を持ち議論を継続することを目的に設置(R2.8)

R6年度流域治水プロジェクト関連活動実績図 [R6.12とりまとめ]



大阪府域



R6年度流域治水プロジェクト関連活動実績図 [R6.12とりまとめ]

京都府域

マイ・タイムライン作成

京都市立久我の杜小学校
京都市立羽束師小学校
羽束師地区自主防災会
菱川町防災委員会

環境学習

長岡京市中央生涯学習センター

環境保全

大山崎町大山崎地区
(竹林伐採)

ワンド保全・再生

大山崎町桂川ワンド

環境学習(フィールド)

八幡市さくらであい館

マイ・タイムライン作成

八幡市立橋本小学校

施設見学

八幡排水機場

施設見学/マイ・タイムライン作成

八幡市立八幡小学校
八幡市立有都小学校

環境保全

京都市松尾橋左岸下流
(貴重種保全活動)

環境学習(フィールド)

京都市松尾橋左岸下流
嵐山東公園

防災学習

京都市立吉祥院児童館

防災学習

京都市立美豆小学校

環境学習

宇治会館

環境学習

宇治市生涯学習センター

環境学習(フィールド)

木津川市 こどもエコクラブ

環境教育(フィールド)

木津川市立木津小学校

琵琶湖

環境学習

近畿子どもの水辺(川ガキ団)

環境教育

京都市立桂東小学校
宇治市立北槇島小学校
宇治市立御蔵山小学校
宇治市西大久保小学校

環境教育(フィールド)

伏見ジュニア河川レンジャー
京都市立砂川小学校
京都市立南浜小学校
京都市立板橋小学校

浸水歩行

宇治市防災訓練

防災学習

宇治市西小倉自治連合会
京都文教大学

環境教育(フィールド)

京都府立木津高校科学部
京都府立木津高校校外授業
(菰の谷川・鳴子川・木津川など)

環境学習

木津川市立山城図書館

環境学習(フィールド)

木津川川ガキ団(菰の谷川・正天川・木津川流域センター)

環境学習(フィールド)

子どもと教育を考える会
木津川市立加茂小学校(新川)

マイ・タイムライン作成

木津川市立州見台小学校

凡 例

●: 治水・防災関連活動

●: 環境(グリーンインフラ)関連活動

被害の軽減、
早期復旧・復興のための
対策

地域住民等の主体的かつ適切な避難行動の実現に向けた活動を実施。
流域治水を推進する観点から、地域と連携した避難訓練への参加・協力、マイ・タイムラインやマイ防災マップの作成支援、防災に関する知識習得を目的とした出前講座・防災学習会などの活動に取り組んでいる。

① 流域治水の自分事化

枚方市立桜丘北小学校への水防災出前授業では自治体職員と連携して「学ぶ・調べる・考える」の3ステップで水害対策を自分事化。PBL(課題解決型)授業として地域防災への自発的な取組を促し、「マイ・タイムライン作り」「マイ防災マップ作り」「児童から地域への発信」までを総合的に実施した。

桜丘北小学校 防災出前授業(枚方市)

当初は単発の出前講座依頼だったが、教員のニーズを汲み取りPBL授業として実施。自治体と共に基礎学習を行った後、児童が地域の水害リスクを調査した。調査結果をもとに「保護者とのマイ・タイムライン作り」や「マイ防災マップ作り」を行い、完成した成果は地域へ共有。「地域課題を自分事として解決する」一連の学習を提案・実施した。



枚方市危機管理部職員と
レンジャーによる水災害の学習



学習を踏まえ、児童が地域を調査



各自が調べた調査内容を
タブレットで情報統合



参観に来た保護者と共に
マイ・タイムラインを作成



各児童が調査した内容を
市職員と地域住民に発表。



児童が作成したマイ防災マップは
枚方市や福祉委員へと共有

② マイ・タイムライン学習

「マイ・タイムライン」学習は地域のニーズや特性に合わせた形で実施。八幡市では排水機場の見学を合わせ、地域の特性を通して自分事化。木津川市では浸水区域外を対象に「マイ・タイムライン」授業を実施。

八幡小等 出前授業(八幡市)

近隣の排水機場の見学して水防災事業を学び、地域水防災の重要性を自分事化し、マイ・タイムライン作成の意欲を向上。複数の小学校で同様の取組を広げている。



排水機場の見学



マイ・タイムライン作成を指導

州見台小 出前授業(木津川市)

地域特性に合わせたマイ・タイムラインツールを作成し浸水想定区域外の小学校で授業を実施。「将来移住する子ども達のために伝えてほしい」という教員や保護者の要望に応えた。



ハザードマップで地域の特性を理解



地域特性に合わせたツールで授業

河川レンジャー活動事例 ②環境(グリーンインフラ)

① 自然環境の保全・復元 などの自然再生

ワンド等の保全・再生に関する活動

桂川ワンドでの調査・防除活動

地域団体等と連携し、外来種の防除や貴重植物の保全活動を定期的に実施。



外来植物の防除



貴重種の保全

枚方公園多自然池エリア なごめる水辺づくり

「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり」(令和5年8月登録:枚方市)との連携が計画されている枚方地区多自然池において清掃活動等の環境保全活動を実施。



多自然池の清掃活動



保全に向けた意見交換

点野みんなの水辺づくり

大学や地域団体と連携した外来種駆除や清掃活動等のワンド保全を行い、市民による水辺づくりを実施。



ワンド周辺の清掃活動

庭窪ワンド保全活動

平成28年から市民団体・大学や企業と連携して外来種除去や清掃活動等のワンド保全活動を実施。



大学や企業、市民団体等との連携

② 魅力ある水辺空間・ 賑わいの創出

鳥飼地区での賑わい創出活動

鳥飼ワンド大作戦

学生団体や地域団体等と連携し外来種防除やワンド維持管理に取り組みながら、市民対象のブース出展やワンドへの見学ツアーなどを通して鳥飼地区の環境や整備計画を周知。舟運事業等とも絡めて鳥飼地区の賑わいを創出している。



ブースでの生体展示



鳥飼地区船着場の解説



鳥飼ワンドの現地案内

③ 自然環境が有する 多様な機能活用の 取り組み

環境学習等のソフト施策に関する活動

木津高等学校 連続講座

高校生へ河川環境授業を実施。水辺の安全利用や生物調査の体験を通して、地域の河川と自然環境の魅力を理解し総合的に伝えられる人材を育成した。



河川環境に関する座学



生物調査の授業



水辺での安全管理指導

取組の発信

活動成果の発表

令和6年度近畿地方整備局研究発表会(R6.9)アカウンタビリティ・行政サービス部門において、中村恵子レンジャーが「教育委員会との連携による地域の状況に応じた小学校防災教育の展開」の論文発表を行い、奨励賞を受賞した。

後日淀川河川事務所長より賞状の授与が行われた。



全国流域治水MAP(流域治水カワナビ)への掲載

流域治水の取り組みを共有するプラットフォームに河川レンジャーの取り組みを投稿。1月現在で「羽束師地区マイ・タイムライン」「鳥飼わんど保全」等の8件が登録、共有されている。



流域治水
カワナビ
REPORT
全国流域治水MAP
水災害に備える
流域を楽しむ
いろいろな話題
カワナビとは

最新のアクション



宇治市西小倉自治連合会でゲーム型避難訓練を行いました。
by 淀川管内河川レンジャー

#淀川管内河川レンジャー #マイ・タイムライン #水防災の自分事化 #流域治水 #防災学習 #避難訓練 #淀川河川事務所



マイ・タイムラインづくりをもっと地域で広めたい
by 淀川管内河川レンジャー

#淀川管内河川レンジャー #マイ・タイムライン #水防災の自分事化 #流域治水 #防災教育 #自主防災会 #淀川河川事務所



鳥飼わんどの環境改善と、より良い川づくりの取組
by 淀川管内河川レンジャー

#淀川管内河川レンジャー #淀川河川事務所 #種生調査 #流域治水 #川づくり #外来種問題 #維持管理 #わんど